

## 第47回奈良県小学校長会研究大会「防災講演会」開催報告

- 1 日時：平成23年12月13日（火）13時30分～15時30分
- 2 場所：奈良県立教育研究所（奈良県田原本町秦庄22-1）
- 3 講師：NPO法人都市災害に備える技術者の会（神戸防災技術者の会）片瀬範雄  
（陪席）NPO法人都市災害に備える技術者の会 伊藤東洋雄 柏田勝幸
- 4 対象者：奈良県下公立小学校長 204名
- 5 題名：「防災への備え—居安思危—」  
補足）この題名は西岡由郎研修副部長（真美ヶ丘第一小学校長）から戴いたもので、『こあんしき』と読みます。  
中国の孔子が編集した史書「春秋」という書の注釈書「春秋左氏伝」にある句です。  
意味は『平安無事のときにも、危難に備え用心を怠らないこと』です。
- 6 研究大会開催の趣旨及び大会概要  
奈良県内公立小学校長が、学校経営上の諸課題について研究発表及び研究協議を行い、自らの資質向上に努めるとともに、奈良県教育の振興発展に寄与する趣旨で毎年奈良県小学校長会が主催して行っておられます。  
今年の研究大会の主題は『新しい時代を拓き、心豊にたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進』とし、午前中は6つの分科会で各2テーマの研究発表が行われていました。  
（①学校経営 ②現職教育 ③人権教育 ④生徒指導 ⑤特別支援教育 ⑥教育環境・教育条件の整備）  
当「防災講演会」は分科会に引続き午後からの2時間行われました。  
因みに昨年は精神科医による講演を行ったとのこと。
- 7 講演会  
講演会は、西岡由郎研修副部長（真美ヶ丘第一小学校長）による司会と恒岡宗司奈良県小学校長会会長（大和郡山市立治道小学校長）の挨拶、講演会趣旨説明と講師紹介により始まった。  
内容：講演は、パワーポイントを使い、主催者側の要望も考慮して、
  - ①阪神・淡路大震災や東日本大震災の現状を伝えると共に、
  - ②特に、学校関係者として直面する発災時の「避難所開設とその後の経営」や「発災後の子供たちへの向き合い方」に重点を置き、
  - ③災害意識が低いとされている奈良県民に災害が何時やってくるかわからないと警鐘を鳴らすことを取り入れた内容とした。話した主な内容は下記のとおり
  - 1) 阪神・淡路大震災の時は
    - ①地震発生直後の様子は
      - ・ 避難所開設の体制は
      - ・ 時間外の時、先生方の出勤体制は
      - ・ 時間外の時、早急に避難所を開設する体制は
    - ②学校避難所の様子は
      - ・ 時間外の時、早急に避難所を開設する体制は
      - ・ 支援物資の量に学校間格差があった（連携して分配も必要）
    - ③避難所の運営は
      - ・ 校長先生は避難所の最高責任者としての役割が求められた
      - ・ いろいろな苦情や要望に対して命令の一本化が必要
      - ・ 先生方が避難所のリーダーとして活動いただいた

- ・ 地域コミュニティーのある地域は先生方の負担は少なかった
- ・ 要援護者への対応が出来なかった

#### ④学校の再開は

- ・ 不自由な環境の中で再開に努めていただいた（激甚地域でも2週間後に開校）

#### ⑤子供たちの活躍は

- ・ 悲しみの中でそれぞれが出来ることで活躍してくれた
- ・ 子供たちの声は大人に勇気を与えてくれた

### 2) 東日本大震災の被災は

#### ①被災の様子は

- ・ 津波写真や被災地の様子、仮設住宅など写真で紹介

#### ②訓練が命を守った

- ・ 釜石東中学校と鶴住居小学校の生徒 600 名は訓練を生かした避難行動をとり、全員が無事であった
- ・ 訓練だけで守れない環境もあり、事前に施設面などの整備も大切

### 3) 災害被害を減少するために

#### ①奈良県下の災害予測は

- ・ 歴史年代で考えたとき、過去に奈良県には地震被害は生じている
- ・ 断層なども多く、ハザードマップの確認を

#### ②近畿地方の災害予測は

- ・ 奈良県では南海、東南海地震の震度より内陸型地震の対応を
- ・ 児童は今後日本各地で活躍するから津波などの対応も知って欲しい

#### ③自律し、連携する市民が地域を守る（公助・共助・自助）

- ・ 神戸のまちは自律した市民が連帯することにより、混乱を乗り越え、復興が出来たと考える
- ・ 日頃から地域と連携して、災害に備えることが大切（学校だけでは限界を感じる）

質疑応答：講演終了後質問の時間を設けたが、特に質問はなかった。

閉 会：閉会式では、恒岡宗司奈良県小学校長会会長による片瀬講師への謝辞と参加者への「これから防災への意識化をどう築いていくか」「安全神話は崩れた」という課題を投げかける言葉で締めくくられた。

（記録：伊藤 加筆：片瀬 確認：宗岡、西岡）



講演開始に備える校長先生達



西岡由郎研修副部長（真美ヶ丘第一小学校長）挨拶



恒岡宗司校長会長挨拶



紹介される片瀬範雄講師



講演に聞き入る校長先生達